

ひふみのあゆみ 2010年6月4日号

ひふみ投信 2010年5月度 ご報告書

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会: 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



運用責任者から皆さまへのメッセージならびに2010年5月の運用状況などをご報告いたします。

運用責任者からお客様へ

◆ 5月の投資環境(株式市場等での出来事)について

4月は11,000円を挟んで推移していた日経平均株価ですが、5月に入ってから下落が続き、5月21日以降は10,000円の台を下回って推移し、一時は昨年11月以来半年ぶりに9,500円を下回る場面もありました。その後も軟調な動きは続き、月末は4月末より11.65%も安い9,768.70円で終わっています。

5月は欧州財政問題への不安感に端を発したユーロ安が世界の金融市場を席巻した月でした。欧州財政問題に関しては、ギリシャが引き続き話題の中心となりましたが、その救済スキームが決定した同月中旬以降は、以前より懸念されていたスペイン、ポルトガルを不安視する声は日に日に高まりました。対応策としての緊縮財政が、欧州の景気の下押しや金融機関の不良債権増加に繋がると不安視され、実体の経済に与える影響や問題の根深さが改めて意識されました。更にドイツの空売り規制導入に象徴される金融市場への規制強化も、投資家の投資意欲を後退させました。

そしてこの影響は欧州にとどまらず、米国、欧州への輸出が多い中国、そして中国への経済依存度の高い日本など世界経済にも波及することが懸念され、株式等リスク資産への投資を回避する動きに繋がりました。

さらに5月は、ユーロ圏の信認が揺らいだことから世界の投資資金が消去法的に安全と見られる資産に向かう動きとなり、日米の国債や通貨が選好され、円高が大きく進行しました。その結果、海外売上依存度の高い企業が多い日本では、円高による輸出企業の採算悪化が不安視され、東京株式市場ではさらに株安に拍車がかかりました。

また、中国の金融引き締め観測に加えて、北朝鮮と韓国間の情勢の緊迫化がアジアの株式市場全体に与えるリスクも新たに意識され始めた点も、日本の市場にはマイナスに働きました。

◆ 5月の「ひふみ投信」の運用ならびに今後について

(今後の運用や見直しについては、市場動向等の変化によって、変更することがあります)

4月は上旬に相場の過熱感があつたため、ひふみ投信では総資産に対する現金の比率を高めに設定していました。5月はゴールデンウィーク後の株価の急落を受けて、市場心理は過熱感から一気に冷え込み、市場参加者は株式相場の先行きに対する不安感を強め始めました。この下落局面では、将来が有望な企業の中にも株価が魅力的な水準まで落ちてきている会社も多く出てきましたので、朝日印刷(3951)のように景気変動の影響を受けにくい安定的な成長株や、ミツミ電機(6767)のような大型企業で直近の株価の下落率が高く、一方では中長期的には大きな成長も期待できる企業の株式に追加で投資しています。この他にも追加や新規の組入をいくつか行なっております。

相場の変動率が高い時こそ、よい企業に割安に投資をする機会であると考えています。現在ひふみ投信は総資産の86%近くが株式となっていますが、残りの14%の現金で新たに株式へ投資をする余力があります。投資の好機を的確にとらえて、基準価額の長期的な上昇を狙っていきたくと考えています。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

ひふみ投信の基準価額について

2010年5月31日時点の基準価額

1万口当り **11,697円**

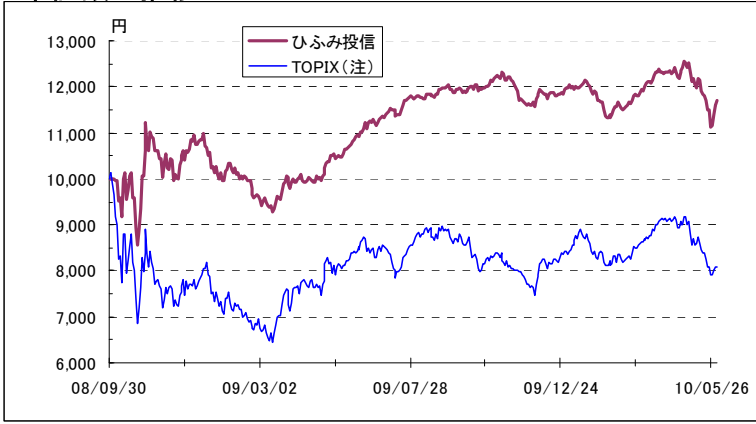
(基準価額とは「ひふみ投信」の値段のことです)

■ 運用成績について

基準価額のおゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1ヵ月	-6.68%	-10.80%
過去3ヵ月	1.47%	-1.53%
過去6ヵ月	-0.32%	4.82%
過去1年	9.32%	-1.94%
設定来	16.97%(※1)	-19.03%(※2)

※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2010年5月31日までにおける数値です。
 ※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2010年5月31日までにおける数値です。

■ 基準価額の推移



(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。
 ※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

支払い済分配金	
第1期(2009年9月30日)	0円
設定来合計	0円

ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当たり時価)を指数化したものです。日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

ひふみ投信の資産内容について (2010年5月31日時点)

■ 資産の内訳

純資産総額	5.00億円
うち 株式	86.61%
うち 預金その他	13.39%
受益権総口数 (※)	427,890,721口

国別の割合	
日本株式	100%
海外株式	0%

(※・・・「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です)

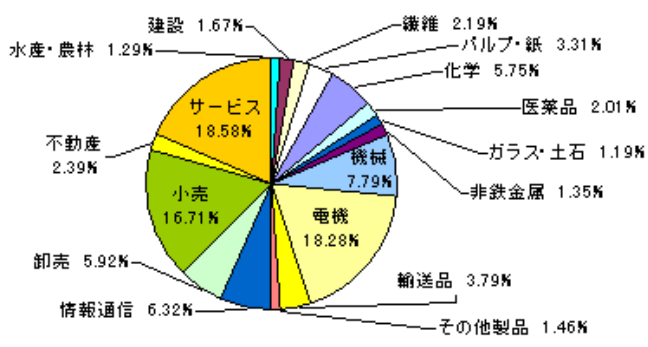
■ 組入比率の高い銘柄

(組入銘柄数:46銘柄)

銘柄コード	銘柄名	業種	比率
1	6767 ミヅミ電機	電機	3.48%
2	5949 ユニプレス	輸送品	3.28%
3	6967 新光電気工業	電機	3.11%
4	4751 サイバーエージェント	サービス	3.05%
5	3951 朝日印刷	パルプ・紙	2.87%
6	4819 デジタルガレージ	情報通信	2.86%
7	8113 ユニ・チャーム	化学	2.76%
8	6941 山一電機	電機	2.73%
9	9984 ソフトバンク	情報通信	2.61%
10	7522 ワタミ	小売	2.60%

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

■ 組入銘柄の業種比率



(注)業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
 ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
 ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター 電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時) メール：cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。